

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌詞の内容に合わせた歌声で歌うことができた。
- ・基礎的な学習を丁寧に行ったことで、表現の技能と意欲が高まった。
- ・楽曲の特徴や曲想の変化を感じ取って聴くことができた。

(2) 課題

- ・器楽分野において、自分の音や周りの音に耳を傾けて演奏することが苦手である。
- ・コロナ禍で鍵盤ハーモニカやリコーダーの活動が十分にできなかったため、奏法が定着していない児童がいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌ったり演奏したりする音楽経験を通して、音楽表現の楽しさに気付くことができるようにする。	様々な音楽に親しみ、味わって聴くようにする。	リズム遊びを取り入れながら歌ったり演奏したりする音楽体験を増やすことで、音楽表現の楽しさに気付きながら、主体的に音楽的活動に取り組めるようにしていく。歌や器楽演奏などの発表活動を取り入れていく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
リコーダーや鍵盤ハーモニカの基本的奏法を身に付けて、技能を伸ばせるように指導を工夫していく。	歌詞の内容をイメージしながら、曲想に合った表現を工夫できるようにする。音色や旋律の音楽を形づくっている要素を考えながら演奏できるようにする。	歌詞の様子を思い浮かべながら歌う学習を増やすことで、合唱や合奏を通して音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組もうとする力を育てていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽曲への興味を高める活動を行い、音楽を形づくっている要素を感じ取る能力を身に付けられるようにする。 表現活動全体を通して記号や用語を理解させ、基礎的な演奏の技能を身に付けさせる。	歌詞の内容をイメージして、描かれているメッセージを読み取る学習を取り入れ、思いや意図をもって表現活動ができるように指導する。 曲想や情景、楽曲のもつメッセージを感じ取る力を育てていく。	曲想や歌詞に込められた気持ちを味わいながら表現を工夫したり、演奏方法を自ら考える時間が増やしたりすることで、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする力を育てていく。